

企業へ粘りの売り込み

今年2回目の学内面接会

学院大・短大 就職目指す150人参加

金沢学院大学・短期大学の学内合同就職面接会は十月七日、第一体育館で行われました。就職先の決めていない大学四年生、短大二年生合わせて百五十人が参加し、各企業のブースで粘りの売り込みを見せました。併せて大学三年生を対象にした合同企業説明会もあり、延べ二百人が参加する盛況となりました。



志望する企業のブース前に列を作る学生 = 第一体育館



盛況の合同企業説明会 = 4号館

学内合同面接会は、進路変更等によって就職の内定が得られない学生を後押ししようとする

チエコ人は知的で律儀

石田学長 かがり火会石川支部で講演



石田寛人金沢学院短期大学学長は十月十日、金沢エクスセルホテル東急で開かれた金沢女子短期大学同窓会「かがり火会」石川支部総会で「チエコで学んだこと」と題して講演しました。

石田学長は、駐チエコ大

使時代を振り返って、チエコの地理や歴史、産業を紹介し、チエコ国民の気質について、「知的で律儀だが愛想が悪いところがある」などと独自の分析を披露しました。また、「チエコ人は豊かな文化を背景にアイデンティティーの確立を目指している」と述べました。講演では、趣味の歌舞伎や劇作にも触れました。

カモーン大と一層の交流誓う

国際部長ら来学

金沢学院大学・短期大学の留学生を受け入れているカナダのカモーンソン大学からドーン・サザランド国際部長とジャックリン・ペタード営業・募集課長が十月十二日、本学を訪れ、石田寛人学長はじめ教員と懇談して、一



石田学長と懇談するサザランド国際部長(中央)ら = 大学長室

層の交流を誓いました。石田学長が、「良好なホームステイ環境や充実したプログラムに感謝する」と述べると、サザランド国際部長らは「もっとたくさん学生の来てほしい」と応え、土産の銅製飾り皿を手渡しました。石田学長は加賀友禅の壁飾りを贈りました。

初めて秋に行ったもので、四十五社が参加しました。スーツ姿の学生らは、志望する企業の前に列を作り、業務内容の説明を受け、自分の意欲と長所をアピールしました。合同企業説明会には金融機関、百貨店など五社の担当者、ブース形式、講義形式で業務の内容や社会人としての心構えを説きました。集まった学生はこのあと本番を迎える就職活動に向けて心構えを新たにしてい

石川助教がパソコン指導

土曜大学第6回



金沢学院大学基礎教育機構主催の土曜大学第6回講座は九月十八日、二号館で開催されました。石川温助教「写真」が「効果的なプレゼンテーションコンテンツの作り方」をテーマに、中高年の受講者九人に対して、パソコン操作の基本から写真や画像を貼り付けたスライドづくりまでを丁寧に指導しました。

ホテルマンがマナー指導

金沢学院大学経営情報学部特別講義は十月五日、講堂であり、金沢エクスセルホテル東急の油屋透総務支配人が、「ホテル業における顧客満足度の向上」と題して話しました。油屋氏は第一印象の大切さを説き、身だしなみを正し、感情を込めた挨拶を」と強調しました。

職場部門で10位

富山リレーマラソン第4回富山あいの風リレーマラソンは十月三日、富山市の富岩運河環水公園で開かれ、金沢学院大教職員Aチームは総合47位、Bチームは同129位でした。参加者が増え、今回初めて2チームで参加しました。Aチームは2時間54分49秒のチーム最高タイムでゴールし、職場部門61チーム中で10位に食い込む健闘を見せました。



富山あいの風リレーマラソンに出場した金沢学院大学教職員

発行・広報室